

大きな宝

児童数 514名

発行責任者 栗東市立大宝小学校

校長 坂東 靖記

発行日 令和7年12月22日

「やってみたい」の声をもとに、協力して実現した「大宝まつり」

2025年の学校生活も、あと1日となりました。

12月17日昼休みに実施した『大宝まつり』。これは、今年度初めて挑戦した取組です。きっかけは、児童会の代表委員会で、「いろんな教室をお店屋さんみたいにして、そこを回って遊ぶ大宝まつりをしたい。」という3年生代表委員の声でした。

昨年度までなかった取組なので、教員も事前の協議が必要でした。それでも、「子どもの声を生かして、それを実現するという方向で」検討し、可能な範囲で第一歩を踏み出すこととしました。

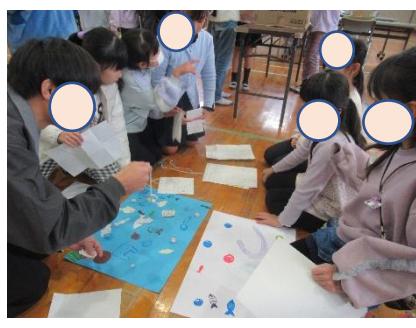
- ・参加は自由で、希望する人がお店を出す。
- ・準備は休み時間を使ってする。
- ・景品やプレゼントはなし。
- ・出店場所は、基本的には体育館。



児童会の計画委員会では、このような「約束事」を話し合ったり、出店を募集したり、出店スペースの割り当てをしたり、スタンプラリー用紙を作成したりする等の準備を進めました。

当日は、計画委員の進行のもと、写真のように大盛況でした。たくさんのアイデアと工夫がつまった遊びコーナーに、笑顔があふれていきました。

「とにかくやってみる」「挑戦する」ことを重視し、「うまくいかなかったこと」や「こうすればもっとよくなるのではないか」ということを、子ども自身が考えたり、教員も一緒に考えたりして、改善する経験を、そして「みんなとならできそう」という集団効力感を大事にしていきたいと思います。



2025年、保護者の皆様には、本校の教育活動にご理解ご協力をいただき、誠にありがとうございました。

2026年も、引き続きどうぞよろしくお願ひいたします。

※左写真はバージョンアップしたきらめき集会オリジナルキャラクター